

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014函第41号
事故等種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成26年8月23日 15時30分ごろ
発生場所	北海道根室市納沙布岬北東方沖 納沙布岬灯台から真方位057.5°304.8海里（M）付近 （概位 北緯45°57.00′ 東経151°58.00′）
事故等調査の経過	平成26年8月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	漁船 第十八 <sup>ゆうりょう</sup> 友漁丸、19トン MG2-5424（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、さんま棒受網漁の操業を終えて北海道根室市花咲港へ向けて納沙布岬北東方304.8M付近を対地速力約10ノット、回転数毎分（rpm）約1,450で南西進中、平成26年8月23日15時30分ごろ、主機の回転が徐々に低下して停止した。</p> <p>船長は、オイル臭を感じたので、機関室内を確認したところ、主機からオイルが噴出していることに気付いた。</p> <p>本船は、主機の運転を断念して無線で僚船及び海上保安庁に連絡し、来援した僚船にえい航された後、巡視船に引き継がれて花咲港へ戻った。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	主機の連続最大回転数は、1,800rpmであった。 船長は、主機を点検したところ、油圧ガバナの作動油管に亀裂を生じていることを確認した。 油圧ガバナの作動油管は、その後、折損した。
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし <p>本船は、納沙布岬北東方沖を南西進中、主機の油圧ガバナの作動油管に亀裂を生じたことから、作動油が漏油して主機の運転ができなく</p>

	なり、運航不能となったものと考えられるが、同作動油管に亀裂が生じた経過については、明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、本船が、納沙布岬北東方沖を南西進中、主機の油圧ガバナの作動油管に亀裂を生じたため、作動油が漏油して主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。